

平成29年度
四倉中学校

学校だより

3月23日(金) 第41号

文責 校長 中根 猛

最高の笑顔残して卒業しました

68回卒業証書授与式は、3月13日行われました。春陽にふさわしい温かな日差しに包まれて卒業生を送ることができました。感謝の会で大楽花菜さんが誓った一つ「最高の笑顔でこの四倉中を巣立っていきます」のとおり感動的な卒業式と見送りの時の笑顔でした。式では、ご来賓としていらした市議会議員坂本稔様、市教委教育委員根本紀太郎様、PTA会長根本弘樹様からご祝辞をいただきました。送辞を来年度前期生徒会長の飯島一輝君が練習の成果を發揮して先輩への感謝の思いを込めながら述べました。それを受けて答辞を生徒会長石川舜君が三年間の中学校生活を振り返りながら感謝の思いを込めて立派に述べました。校長式辞では、はなむけにかえて二つのことを話しました。一つは「対話」を大切にすること。二つ目は、「君たちはどう生きるのか」より引用してどう生きるのかを考える意義について話しました。その後の式歌がとても感動的でした。在校生は、「そのままの君で」を卒業生への感謝の思いをこめて声量豊かに歌い上げました。それを受けた卒業生の「旅立ちの日に」では、感極まって涙ぐむ生徒や間奏での前川夏穂さんの感謝の言葉で歌声が涙でつまる場面もありました。とても素晴らしい卒業式でした。

ところで、17日の朝日新聞の天声人語に高校教師歌人千葉聡さんの歌が紹介されていました。

<三年間みんな本当に() ←空欄に好きな言葉を入れ卒業せよ>

1. 2年生の皆さんは、卒業を前にしてどんな言葉を入れるのでしょうか。どんな、1年間、2年間を過ごすのか期待を込めてエールを送りたいと思います。

本日、修了式 進級おめでとうございます

23日、無事に修了式を迎えることができました。式で、1年生80名、2年生107名を代表して、1年は、青木健悟君に、2年は阿部亜衣梨さんに修了証を手渡しました。進級おめでとうございます。また、保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。お陰様で、206日間の授業日を含め、休日や長期休業等の部活動や地域行事などにおいても、大変充実した教育活動を展開することができました。進級してからのさらなる成長に期待します。

さて、明日から、4月5日(木)まで13日間の春休みに入ります。新年度は、4月6日(金)の始業式からです。有意義な春休みにするために次のことに取り組んではいかがでしょうか。

- 苦手な教科の復習をすること。春休みの復習が新学期からの飛躍の土台になります。
 - 新年度の大きな目標を決めて実現のための計画を逆算して具体的に立てること。
- <例> 来年3月〇〇高校合格→春休み～5月(1年の復習)→6.8月(2年の復習)

心機一転、新たな目標を立て具体的な取り組みを始めるのに春休みはとてもよい時期です。新たな希望と意欲を胸に始業式を迎えて下さい。

ところで、希望について感銘を受けた言葉をご紹介します。自立支援施設の園長先生が書かれた文章からです。

生活をするというのは「食う、寝る」ことではありません。「希望を持って呼吸している」ということです。私たちは、彼らの将来にどんな小さな夢であってもいい、必ず抱いてほしいと、目標を持って生きていってほしいと願っています。そして、そこにつながるであろう今の生活を日々丁寧に作っていかねばならないと思っています。

「希望」を持つこと。希望をかなえるために今の生活を丁寧に作り上げていくことが進路をかなえ人生をひらいていくことになると思います。

年度末・年度始めの諸行事について

<離任式> 3月28日(水)

・生徒登校8:30まで ・学級活動8:30～8:40 ・離任式9:00～9:30
・見送り9:45～10:00

<始業式> 4月6日(金)

・着任式8:40～9:00 ・始業式9:00～9:30 ・学級活動9:40～10:10
(教科書配付のため背負いかばん登校)

<入学式> 4月6日(金)

・学級発表、受付開始12:00～ ・入学式13:00～14:00